

平成 25 年度 第 1 回 環境影響調査研究委員会 議事録

日時	2014-3-12 10:00~12:00	作成	伊藤	前回	—
場所	サンシャイン 5 ビル 6 階会議室				
出席者	出席：名古屋委員長、村田副委員長、田吹委員、庄司委員、小西委員、乾谷委員、岡田委員、松原委員、小島委員、渡辺委員、小西専務理事、元木事務局長 欠席：なし (順不同、敬称略)				
議事	1. 委員会の趣旨説明および今後の進め方について 2. その他				

議 事 内 容

小西専務理事より元木事務局長の紹介および委員会名簿に基づき委員の紹介が行われ、名古屋委員を委員長に村田委員を副委員長にしたい旨の提案が承認された。その後、名古屋委員長の挨拶の後、議事に入った。

1. 委員会の趣旨説明および今後の進め方について

小西専務理事より、協会の常設委員会（生体環境調査研究委員会、計測技術等調査研究委員会、教育・研修検討委員会、機関誌編集委員会、環境影響調査研究委員会）について次のような趣旨説明があった。

生体環境調査研究委員会：生体影響に関する過去の文献調査を行う

計測技術等調査研究委員会：過去から現在に至る計測技術等(保護具を含む)を整理し、どのような計測が望ましいか検討し、それに係る研修会等を行う

教育・研修検討委員会：研修会等の内容に関する検討を行う

機関誌編集委員会：機関誌の編集を行う

環境影響調査研究委員会については、各委員によって検討され、次のように進めていくことが確認された。

- (1) これまでにどのような調査が行われてきたのか、過去の文献調査を行う
- (2) 厚労省、環境省、建災防から出されているマニュアルを検証する
- (3) 他の委員会と協力して実験等を行う
- (4) 実際の現場調査を行う

(次ページへ)

また、以下のような意見が出され、検討された。

- (1) 協会の会員であるロックウール工業会、セラミックファイバー工業会等の工業団体からの要望があれば、共同で調査等を行うことは可能である。
- (2) ロックウールの吹き付けに係る管理上の問題について、施工現場の実態調査を、生体環境調査研究委員会、計測技術等調査研究委員会の協力を得て実施したいので、次回あたりにポイントを具体的に決めたい。
- (3) 炉の補修・解体に関する検討
- (4) バグフィルターの漏れに関する研究について
- (5) アスベストマニュアルの実態調査（例：煙突に対して使用できるのか）
- (6) 土壌中のアスベストの分析について、分析方法はあるが判断基準がない。また、自然に存在するものか、故意に埋めたものかにもよるため、評価ができない。

2. その他

(1) 第1回繊維状物質計測に係る技術研修会(案)について

小西専務理事より(公社)日本作業環境測定協会との共同開催である旨の補足説明があり、次のことが追加された。

- ① 開催は平成26年5月21日(水)から23日(金)の3日間
- ② 21日はマニュアルに関する講義を、23日は分析に関する講義を(公社)日本作業環境測定協会の主催で行う
- ③ 22日は技術的な内容に関する実習を(一社)日本繊維状物質研究協会の主催で行う

また、開催場所に関しては(公社)日本作業環境測定協会と検討していくが、全国規模で開催したいという希望があり、その場合は2日目の実習に関しては(一社)日本繊維状物質研究協会より人員を派遣することが確認された。

(2) 第2回日本繊維状物質研究学術集会 開催のご案内(案)について

小西専務理事より開催案内(案)について、昨年と同様に学術集会を開催するが、今回より展示出展の募集を行い、各メーカーに展示品を使用したプレゼンテーションの場を設ける旨の説明があり、承認された。

(3) 第2期年間スケジュール(案)について

小西専務理事より第2期年間スケジュール(案)に基づいて各委員会の1年間の流れについて説明があった。

(次ページへ)

(4) 次回委員会について

第2期年間スケジュール(案)に基づいて第2回委員会の日程調整を行い、平成26年7月11日(金)14時から開催することとなり、場所は決まり次第連絡することとなった。

以上

【配布資料】

委員会名簿

第1回繊維状物質計測に係る技術研修会(案)

第2回日本繊維状物質研究学術集会 開催のご案内(案)

第2期年間スケジュール(案)